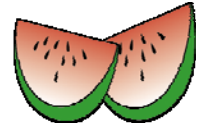




# 信楽園病院だより



第 65号 平成18年8月1日 発行

〒950-2087 住所 新潟市新通2099番地 Tel 025-260-8200 FAX 025-260-8199

E-mail [main@shinrakuen.com](mailto:main@shinrakuen.com) ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>

## ＜大地の芸術祭と信楽園病院＞

院長 鈴木 正司

ご存知かも知れませんが7月23日より「越後妻有アート・トリエンナーレ2006」が十日町市と津南町を舞台に始まりました。「トリエンナーレ? 何だそれは?」と思われる方々もおられるかも知れませんが、6年前から同地区で始められたユニークな試みで、言ってみれば「野外設置型の広大で分散した多種・多様な芸術祭」とでも申せましょう。通称は「大地の芸術祭」とも呼ばれています。その裏には名だたる豪雪地帯で過疎に悩む地域に、大きなイベントをやって都会の若者の目を引きつけようとの狙い、つまりは「地域起こし」の戦略も色濃くあったようです。ですから箱根には有名な「彫刻の森」がありますが、あのイメージとは大きくかけ離れております。



「無限の網 OWETTE」  
草間 彌生

前日の22日夜には、十日町市郊外にある公園に設置された野外舞台上、宗家が本物の能舞を披露し、その様子はテレビニュースでも流れました。舞台の背面の斜面は2年前の中越地震で崩れ落ちたところで、「地震、2年続きの豪雪被害、さらには過疎再生への挑戦」としてこの場を選んだとのことです。

この芸術祭は「トリエンナーレ」つまり「3年に1回の開催」であり、今回で3回目だそうです。第1回は6年前に行われ、当初はこの地の住民たちにとってはむしろ「訳の分からない酔狂な芸術家の気まぐれ・・・」というイメージであったようです。しかし初回から「国内外の有名、無名の芸術家たち」が多数参加しており、「その筋の通」の間では結構話題になったようです。それが回を重ねて3回目となり、住民の間にも根付き、広く一般の方々の間にも評判となって来たようです。かく言う私もこの芸術祭を鑑賞（見物?）したのは今年が初めてですが、皆様にも是非一度はお勧めしたい催事であります。

十日町市から松代へ車を走らせますと、豪雪の度に運休するという飯山線の松代駅の脇には、直径5～6メートルもある奇抜な形と色彩の造形物がありました。近寄ってみますと製作者は「草間彌生」とありました。おやおや、あの「草間彌生」の作品が、こんなところで野外芸術作品となっていると驚かされました。実は彼女の作品（無限の網 OWETTE）は信楽園病院の外来待合の壁にも展示されておるのです。つ



「飾 甲」  
清水 九兵衛



「海と集落」  
成田 禎介

いでに申せば、正面玄関から入った外来のロビー左奥には、アルミニウム製の奇抜で大きな造形物がありますが、これは先日亡くなった「清水九兵衛」の作品です。この二人以外にも、病院内のあちこちに貴重な作品が展示してあります。近々には総理大臣が記者会見する官邸の背景に掛けてある大きな絵も、当院に参ります。

お暇を作って、皆様には是非ご鑑賞頂ければと思っております。